

マヤ保育園

評価結果

2013年11月28日 公表

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関第26号 横浜市福祉サービス第三者評価指定機関第17号

評価実施機関：特定非営利活動法人よこはま地域福祉研究センター

〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201号

TEL045-228-9117・FAX045-228-9118

<http://www.yresearch-center.jp>



実施概要

事業所名	社会福祉法人 マハ・ハヤ会 マヤ保育園
最終報告書作成日	2013年11月28日 (評価に要した期間 6か月間)
評価機関	特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター

*評価方法

1. 自己評価	【実施期間：2013年5月1日～2013年6月24日】 職員会議で趣旨を説明し、常勤・非常勤ともに個別で記入 クラス単位で取りまとめる 年少・年長の主任会議で取りまとめた結果を、全体の主任会議で 取りまとめる 最後に、園長・副園長・主任がチェックし、全職員に周知
2. 利用者家族アンケート調査	【実施期間：2013年7月16日～2013年7月31日】 配付：全園児の保護者（96家族）に対して、園から手渡しした。 回収：保護者より評価機関に直接返送してもらった。
3. 訪問実地調査	【実施日：2013年9月2日、2013年9月10日】 第1日目 午前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午後：書類調査～事業者面接調査（園長、副園長、主任） 第2日目 午前：各クラスの保育観察～園児と一緒に昼食をとる。 午後：職員ヒアリング（クラスリーダー、調理師、非常勤職員） ～事業者面接調査（園長、副園長）
4. 利用者本人調査	【実施日：2013年9月2日、2013年9月10日】 訪問日両日とも各クラスの午前中の保育時間を中心に、食事、排 せつ、午睡の状況、登降園の様子などを観察。 乳児については主に観察調査、幼児については観察と食事の時間 などに適宜聞き取り調査を実施。



評価結果についての講評

(高く評価できる点、独自性のある点、今後期待される点、工夫改善点などについての総括)

【施設の概要】

「マヤ保育園」は、相鉄線「和田町」駅・「二俣川」駅、または JR 横須賀線「東戸塚」駅より、路線バスで 15 分、「左近山団地第 6」停留所・「市沢団地入口」より徒歩数分の閑静な住宅地域に位置します。創立は、1970 年(昭和 45 年)4 月という旭区内では一番歴史のある保育園です。また、運営母体は、社会福祉法人マハ・マヤ会です。

1985 年(昭和 63 年)1 月に建築された現在の園舎は、1 階に乳児・幼児の 6 つの保育室、調理室、ホールがあり、2 階には事務室、応接室、書庫があります。その他、園庭は 3 か所(スウェーデン製遊具のある前庭、運動場、乗り物広場(芝の運動場))あり、十分な広さが確保されています。

保育理念は、「仏教の説く曼荼羅」あらゆるものが価値を持って共存する世界」の精神を基本とし、一人一人の子ども個性をかけがえのない大切なものととらえ、慈しみ愛することから、総ての保育(教育)の活動が出発する。集団の規律を損なうことのないように注意しつつ、ゆとりある暖かい母性をもって総ての保育活動にあたるようにする。また、自由遊びを中心にした保育を進めるようにする。」を掲げています。また、保育目標は、健康で明るい性格の子どもに育てる、感動豊かな子どもに育てる、行いの正しい子どもに育てる、仲間意識の豊かな社会性に富んだ子どもに育てるの 4 つを掲げています。

1. 高く評価できる点

子どもたちは、園の特徴の保育に触れながら、メリハリのある生活を過ごしています

園の特徴として、外部講師が担当する様々な特別教室や楽しいイベントが数多くあります。幼児クラスでは、造形・声楽・文字と数・パソコン・英会話が毎週行われ、子どもたちは自分の思ったこと・感じたことを自由に表現しています。特に音楽には力を入れていて、各クラスでは、保育士のピアノの調べにあわせた、楽しそうな子どもたちの歌声が溢れています。声楽教室では、歌詞の意味を考えながら歌うことを教えています。

また、はだし保育を実践しています。室内だけでなく、十分な広さの園庭を備えていて、子どもたちははだしで思いっきり走りながら、思い思いの遊びをしています。乗り物広場には、芝生が敷き詰められていて、子どもたちは寝転んだり、すべったりと身体全体を使って遊び、また桜の樹液・セミの抜け殻・バッタ・トンボなど多くの自然と触れ合っています。室内では味わえない多くの自然と触れ合う子どもたちの姿は、「健康で明るく・感情豊かな子どもに育てる」という保育目標の実践につながっています。その他、クラス内の日常保育において、保育士が「あいさつ・お行儀」に関してその都度指導しています。返事・待っている時の姿勢・整列の仕方・食事前のあいさつ・椅子の出し入れ・衣服の折りたたみ・けんかした後の仲直りの仕方など、保育目標にもある「行いの正しい子ども・社会性に富んだ子どもに育てる」を実践しながら、生活にメリハリをつけた保育が行われています。子どもたちは自然と

自立性・協調性を育み、必要なルールや社会性を身につけています。

子どもたちは、経験豊富な職員に囲まれながら、日々安心した生活を送っています

園長の長い指導経験や園の伝統精神である「あたたかい母性」を踏まえ、経験豊富な職員が日々穏やかな保育を実践しています。乳児クラスでは布おむつを使用しているため、保育士は30分から40分ごとにおむつを確認しています。一人一人のペースに合わせた排泄を心がけた丁寧で清潔な処置をしています。また、保育士は、遊びの時間には「すごいね」「車が好きなんだね」、食事の時間には「ゆっくり食べてね、もぐもぐ、ごっくん」「お味噌汁ほしかったの？ごめんね」など、豊富な言葉かけを行い、遊んでいる時や食事している時だけでなく、親と離れる時、けんかした時、体調が悪い時など、子どもの気持ちに寄り添い、十分なスキンシップを行っています。

このような保育を受け、子どもたちはおんぶや抱っこなどをしてもらい、職員に十分に甘えながら、また温かく見守られながら、日々笑顔で安心した生活を送っています。

2. 工夫改善点

より一層、子どもたちが地域の人たちと触れ合う機会を設けることが望まれます

園は、地域の施設として長い歴史を築いています。地域では認知度も高く、地域の子育て相談を受けて支援活動をするとともに、園のお知らせは町内会の回覧版などにより情報提供をするよう心がけています。地域住民からの相談には、必要に応じて、旭区こども家庭支援課のケースワーカー・横浜市西部地域療育センター・嘱託医等と連携を密にしながら応じる体制を確立しています。

一方、現在子どもたちが地域と触れ合う機会はほとんどありません。これは、園に十分な広さの3つの園庭があるため、自然との触れ合いや思いっきり身体を動かすことが可能であり、屋外活動は散歩ではなく園庭での活動を中心としているからです。

今後は、子どもたちが散歩や買い物を通して、近隣地域の人たちと交流することにより、より一層の地域の理解を深める活動が望まれます。

スーパーバイザーであるクラスリーダーや主任クラスの計画的な人材育成が望まれます

園では、職員の経験年数に応じた役割や責任などの期待水準を明文化しています。また、賞与支払い時における園長の個人面談により、職員一人一人の経験・能力・習熟度などで気付いた点を簡潔にまとめ、伝えていきます。このように、職員に対する人材育成は実践されているものの、スーパーバイズできるクラスリーダーや主任クラスに対する人材育成計画は、現在作成されていません。

今後は、各クラスや園における課題を的確に把握し、さらに職員の育成を行うことができる人材を計画的に育成することを目的としたプログラムの作成が望まれます。



分類別評価結果



「ひょう太マーク」は、各評価分類の水準を表しています。

3 つ：高い水準にある 2 つ：一定の水準にある 1 つ：改善すべき点がある

評価領域Ⅰ 利用者本人（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>I-1 保育方針の共通理解と 保育課程等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「仏教の説く曼荼羅”あらゆるものが価値を持って共存する世界”の精神を基本とし、一人一人の子どもの個性をかけがえのない大切なものにとらえ、慈しみ愛することから、総ての保育(教育)の活動が出發する。集団の規律を損なうことのないように注意しつつ、ゆとりある暖かい母性をもって総ての保育活動にあたるようにする。また、自由遊びを中心にした保育を進めるようにする。」を保育理念としています。また、保育目標は、①健康で明るい性格の子どもに育てる、②感動豊かな子どもに育てる、③行いの正しい子どもに育てる、④仲間意識の豊かな社会性に富んだ子どもに育てるの4つを掲げています。共に、利用者本人を尊重したものとなっています。この理念と方針は、新年度の事業計画、新年度準備における全職員会議、保育課程の作成時等で、全職員に向け周知を図っています。 ・保育課程は、保育理念や保育目標に基づいて作成し、次代を担う子どもたちの健全な成長を第一と考え、「明るく、感動豊かで、行いの正しい子どもに育てる」ことを目指し、子どもの最善の利益を第一義に考えて作成しています。保護者には、保育理念や基本方針が記載されている「入園案内」を配布し、説明しています。 ・クラスリーダーを中心に、年齢ごとに子どもの発達と保育の連続性を考慮しながら、保育課程に基づいた指導計画を作成しています。さらに、当番活動、遊びの選択、製作したい作品決めなど、保育士は子どもの自主性や主体性を育てる機会を多く作っています。
<p>I-2 子どもの発達や状況に 応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会后、副園長と主任で保護者と質疑応答の時間を設けています。入園時には、入園願書・園児保健調査票・健康台帳をもとに個人ごとに記録し、全職員が子どもの生育歴や家族の状況を把握できるようにしています。 ・短縮(ならし)保育については、入園説明会で説明し、必要な場合は保護者と話し合いをしながら個別に日程を決めています。保育士は、連絡帳を活用しながら、子ども一人一人の1日の様子(睡眠・排便・健康状態・朝食・生活状況)を記録して、保護者との連携を密にしています。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの発達の状況に応じて、4つの学期に区分した年間指導計画、乳児・幼児で項目が異なる月間指導計画を主任・クラスリーダーの保育士を中心に話し合いの上作成し、園長・副園長を含めた職員会議等で確認・評価・見直しを行っています。
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各クラス・ホール・廊下・園庭等の衛生・安全チェックリストを活用し、屋内・外とも常に清潔に保たれています。また、保育士は通風・換気に気を配り、朝・夕の空気の入替えのほか、子どもたちの園庭での活動時などは窓を開けるなど、空気の入替えを適宜行っています。なお、保育室すべての窓は大きく、十分な陽光が取り入れられる構造となっています。 ・ 沐浴・温水シャワー設備があり、マニュアルを活用しながら、設備の管理や清掃をし、衛生面の配慮をしています。 ・ 低年齢児は小集団活動に適した空間を確保するため、絨毯やフローリング部分などでクラス内を仕切り、室内の使い方を工夫しながら、異なった遊びを設定しています。また、着替えや食事などをする際には、保育室内の一定の場所を定め、安心して過ごせるような配慮をしています。
<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0歳児から2歳児まで、個別指導計画（子どもの様子、ねらい・内容、保育士の配慮・援助など）を作成しています。また、幼児についても特別な課題がある場合は、担任が園長・副園長・保護者・横浜市西部地域療育センターと相談の上、個別指導計画を作成しています。 ・ 一人一人の子どもの発達状況は、入園願書・保健調査票・経過記録・個別指導計画・医師の診断書など、入園時から現在に至るまでの詳細を記録・保管し、全職員が必要なときに見られるようにしています。
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に配慮の必要な子どもに関しては、主任会議や職員会議で話し合い、要配慮児童用記録ファイルに記録され、全職員が情報を共有しています。 ・ 障がい児保育に関してして、囑託医や横浜市西部地域療育センターなどから、専門的なアドバイスを受けるとともに、情報交換・報告・助言を受けながら、指導方法の検討ができる体制を整えています。また、個別指導計画は、子どもの心身の状況(食事・排泄・着脱・睡眠・清潔・情緒)、保護者・友達との関わり、家庭の状況や保護者の意向、療育機関の担当者による指導などを踏まえ、丁寧に作成しています。 ・ 虐待マニュアルや職員研修などで、虐待の定義を明確にし、全職員に周知しています。また、虐待が疑われる場合は、関係機関と相談

	<p>しています。見守りが必要な場合においても、虐待の早期発見に向け、毎月の身体測定や着替えの時にチェックしながら、必要に応じて関係機関との連携を図っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー疾患のある子どもには保護者から医師の指示書の提出を受けて、保護者と面談をしながら、連絡や報告を密にすることによって適切な対応を行っています。また、対象園児の一覧表を作成し、調理室・保育室に掲示し、除去食の配善時には、個別の専用トレーや食器、名前シールを使用し、必ず2人でチェックし合うことによって、間違いが起きないようにしています。 ・文化や生活習慣の違う子どもについては、保護者に必ず確認をとりながら対応を検討し、子ども同士が自然とかわることを見守りながら、考え方の違いを認め、尊重するようにしています。
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情（相談事）受付担当者を主任、解決責任者を園長とし、苦情解決体制・申し出方法を保護者にプリントで配布し、説明しています。また、園内に意見箱（ポスト）と意見記入用紙を設置することで、意見要望を気軽に表明できるための工夫をしています。 ・園では、保護者からの要望や意見に対して、迅速な対応を心がけ、担当保育士から主任保育士・副園長・園長への連絡を徹底しています。また、過去の苦情やトラブルは、受付日・発生時期・場所・申出人・苦情の内容・対応などを記載する「苦情受付書」で記録・ファイリングし、今後のトラブル防止・解決に役立てています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育室は、絨毯とフローリングに分けて室内に変化をつけ、机や椅子などの移動で子どもが飽きずに落ち着いて遊べる環境を作っています。 ・ 子どもが興味を示している遊びに着目し、集団の遊びにつなげることは多くあります。たとえば、「一人での縄跳びから、大縄跳びへ」「ごっこ遊びから造形教室での食べ物制作」「パソコンで作った手紙から郵便配達ごっこ」など、みんなで楽しむ遊びに広がっていきます。 ・ 一斉活動については充実したプログラムを通して、友だちと一緒に行動する楽しさや、友だちとのルールを守ることなど、年齢に応じた取り組みで学んでいます。 ・ 園には、遊具のある前庭・乗り物広場・運動場の3ヶ所の広い園庭や、畑などがあり、自然に囲まれた屋外活動を、楽しく安全に行っています。 ・ 付近に交通量の多い道路があり、園外への散歩はほとんど行っていません。したがって散歩などを通しての子どもたちの地域との関わりは難しく、園では課題と捉えています。園外保育は園の専用バスを使用して、少し遠くの公園にも出かけています。 ・ 園では専門講師による声楽教室・造形教室を長年実施し表現力を養う取り組みを続けています。子どもたちは、造形教室では様々な素材に触れ、様々な表現方法を体験しています。音楽については園の日常保育でも力を入れ、さらに声楽教室での専門的な発声や表現を体験させています。 ・ 園の伝統精神である「あたたかい母性」を継承した経験豊富な職員が、日々穏やかな保育を行っています。子どもたちは職員に十分甘えて園生活を送り、子どもの安心した笑顔があります。 ・ 強制的ではありませんが、「はだし保育」を室内だけでなく、屋外でも実施しています。子どもたちは安全な園庭で土の感触を楽しんでいます。
<p>- 1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事の量については、子どもの食べられる量を考慮した盛り付けにし、完食出来た喜びを、子ども自身が感じられるようにしています。子どもに、苦手な食べ物を無理強いせず一口でも食べてみるようにすすめ、なるべく好き嫌いをなく育つように心がけています。 ・ 園では、食べ物や食べ物を作る人に感謝する心を養うため、食事の

たびにクラス全員で「おいしい給食をいただきます」と言って手を合わせる習慣です。また、畑の野菜収穫やクッキング、4、5歳クラスの給食当番（配膳と片付けの手伝い）などの取り組みにより、子どもたちの食への関心を深めています。

- ・ 日々の食事時には、おだやかな音楽を流し、くつろいだ雰囲気を作っています。
- ・ 調理担当者は「給食日誌」をつけ、検食の感想とともに残食量を記録し、給食作りの参考にしています。
- ・ 園では年1回、保護者向けの試食会を開催しています。ホールで職員とともに給食を食べてもらい、園の味付けを知ってもらう機会としています。
- ・ 午睡時には、子どもが寝付くまでの間、オルゴールの静かな音色の音楽を流したり、部屋のカーテンを引いて明るさを遮ったりするなどして子どもたちが安心して眠れるようにしています。
- ・ おむつは布おむつを使用し、排泄の確認を頻繁に行いながら、おむつ替えを行っています。保育士はおむつ替えを、子どもと触れ合う大切な機会と認識しています。

- 2

健康管理・衛生管理・
安全管理[健康管理]



- ・ 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、職員はマニュアルに基づいて、日々子どもの健康状態の把握をしています。
- ・ 園では年2回の健康診断、年1回の歯科健診を行い、記録を残しています。また必要に応じて、嘱託医と連携し子どもの健康を守っています。
- ・ 保育中に感染症が発症した場合は、他児童への感染を配慮して保護者に速やかに連絡し、保護者が迎えに来るまでの間、他児童と離して見守っています。また、園内での発症が認められた時には、印刷物の配布や掲示により保護者への情報提供を速やかに行っています。

- 2

健康管理・衛生管理・
安全管理[衛生管理]



- ・ 衛生管理に関するマニュアルがあり、年度初めの全職員会議で見直すほか、年度途中においても必要に応じた変更をしています。
- ・ 園内はマニュアルにそった清掃を行い、衛生管理チェック表に記録し、清潔に保たれています。

<p>- 2 健康管理・衛生管理・ 安全管理[安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の建物は耐震・免震の対策をしています。さらに地震対策として、室内の棚は作りつけであり、ピアノは鎖で固定し、高い棚の上には物を置かない習慣も徹底しています。 ・地震や火災を想定した避難訓練・消火訓練を定期的実施し、訓練の記録を残しています。 ・毎年、全職員が救急救命法の講習を受講しています。 ・子どものケガについては、小さなものであっても保護者に直接口頭で状況を報告し、「事故処理報告書」に、状況・対応・反省点を記録に残しています。 ・園の出入り口は施錠され、送迎の際の解錠は、入口に設置しているカメラでその都度職員が確認しながら行っています。また、保護者・子どもたちの登園・降園時間はICカードで記録をしています。
<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が、一人一人の子どもの個性をかけがえのない大切なものと認識し、子どもたちの人格尊重を意識して保育にあたっています。 ・子どもと一対一でゆっくり話し合いたい時には、ホールや小ホール、テラスなどを活用しています。 ・個人情報の取り扱いや守秘義務に関するガイドラインはマニュアルに記載され、全職員へ周知しています。ボランティアや実習生にも事前に説明の機会を持ち、周知が行われています。 ・4、5歳児クラスのグループ分けは子どもたちで行い、年間を通して使用するグループ名も、子どもたちで決定しています。しかし、他クラスにおいては男女によるグループ分けが見られます。
<p>- 4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・当園では園の基本方針を、入園説明会や懇談会の場で、保護者に説明しています。さらに、毎月配布の「くらすだより」や連絡帳でも、日々の保育の中で保護者に理解してもらいたい園の方針を伝えています。 ・「園のたより」（出欠帳）、「おたより帳」（出来るようになったことなどの双方の丁寧な記述）、健康観察カード（食欲・排泄・起床就寝の時間など）の3点を、0歳児から5歳児までの全年齢で保護者とやりとりし、きめ細かな毎日の情報交換をしています。 ・保護者からの相談には、事務室や空いている保育室を使用して、人に聞かれないような配慮をして対応しています。 ・クラス懇談会では、園の目標・クラスの目標、子どもたちの園での様子などを、保護者に伝えています。 ・保育参観日を始め、運動会や給食試食会などへの保護者の保育参加を受け入れています。 ・当園には保護者会があり、その活動に場所の提供をしています。保護者会はほぼ毎月、会議や打ち合わせ、印刷業務などを園内で行っ

ており、その都度園と保護者会間の交流があります。

評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1</p> <p>地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な育児相談を続けており、この交流を通して地域の子育て支援ニーズの把握をしています。 ・ 鶴ヶ峰エリア連携会議や横浜市の子育て支援に関する研修に参加しています。 ・ 地域住民に向けた子育てに関する講習の開催には至っていません。しかし、本年度は地域住民に向け「減災について」の講演会を開催し、今後、この取り組みを保育や子育てのテーマに展開していく予定があります。
<p>- 2</p> <p>保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週水曜日に、電話による育児相談を受け付けています。 ・ 園からのお知らせは、町内会の回覧板利用や、地域のコンビニエンスストアに掲示させてもらうなど、身近な情報提供を心がけています。 ・ 地域住民からの相談に応じる体制作りには、旭区こども家庭支援課のケースワーカー、横浜市西部地域療育センター、園の嘱託医などとの日常的な連携をもっています。

評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・ 地域コミュニティへの 働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年、園の運動会に地域の方々を招待しています。地域の方が参加出来るプログラムも用意し、保育園の運動会を楽しんでもらっています。 ・ 当園は町内会に所属し、毎年行われる町内会の防災訓練に参加しています。 ・ 「パウンズ活動」という、近隣保育園5歳児の交流会に参加しています。小学校入学後の友だち作りを目的に始められ、地域の小学校別グループでの遊び会を年に数回実施しています。 ・ 地域の市沢小学校、左近山第二小学校とは、密に交流を持っています。小学校と園との双方の訪問、小学生による「よさこい踊り」の指導などの交流があります。 ・ 園庭での屋外活動が中心のため、現在は散歩や買い物を通しての近隣の人たちとの交流はほとんどありませんが、子どもたちの地域交流を今後の課題と認識しています。
<p>- 2 サービス内容等に関する 情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の利用者に対して、横浜市のホームページ「ヨコハマはびねすぽっと」に園の情報を提供したり、旭区の子育て支援イベント「保育園ひろば」にパンフレットを置いたりするなどの広報活動をしています。 ・ 園のホームページやパンフレットで、利用希望者に園内の見学に応じていることを案内しています。 見学希望者の都合に沿い、保育に支障をきたさない範囲で、園児の活動を見てもらえるように対応しています。
<p>- 3 実習・ボランティアの 受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア・実習生受け入れのためのマニュアルがあり、実習生には、これに基づいて園の方針や利用者への配慮を説明しています。 ・ 実習はあらかじめ本人や学校からの希望を聞きとり、希望に沿った、より効果的なプログラムで行っています。 ・ 実習終了時には職員と意見交換の機会を作り、その内容は「反省会記録」としてファイリングしています。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の運営に必要な人材構成かどうか、年度初めの事業計画案で毎年検討し、必要に応じて人員補充を行っています。また、保育理念や方針に沿った保育を行うために、法人独自に定めた「経験年数ごとの目標」を文書化し、計画的な人材育成が行われています。 ・ 副園長を中心に研修計画を策定し、各職員の資質向上に向けた計画作りに努めています。研修については、常勤・非常勤の区別なく全職員が受講できる体制を整え、研修受講者は、内容を記録するとともに職員会議等で発表し、全職員が理解できるよう配慮しています。 ・ 園は、非常勤職員にも常勤職員と同様の資質が求められていることを理解しています。また、非常勤職員の特性や経験などを配慮し、常にベテラン職員からの指導が受けられるように、シフトのバランスに配慮しています。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的開催される職員会議・必要に応じて月数回開催される主任会議では、保育技術について話し合わせ、資質の向上が図られています。各職員の立場や経験などによる考え方の違いを統一するために、回覧ノートにて職員間の情報共有を迅速に行うように心がけながら、一層のサービス向上を目指しています。 ・ 年度初めの職員会議等で自己の保育を評価・記録しながら丁寧に自己の実践の評価を行っています。また、月間指導計画では、生活・運動や遊び・人間関係・言語並びに認識・表現・食育等丁寧に記載しています。意図した計画と実践内容を比較して改善点があれば、取り組み方や活動内容について、園長・副園長・主任等を交えながら話し合い、見直しをしています。 ・ 保育士等の振り返りの結果は、主任会議や職員会議等で報告しています。また、園では、改善点・課題点を職員会議等で話し合いながら、毎年事業計画案で定期的に園の自己評価を行っているものの、公表するまでには至っていません。
<p>- 3 職員のモチベーションの維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経験年数や役割における期待水準や目標を明文化しています。 ・ 園長による賞与支払い時の面談の際に、職員一人一人の経験・能力・習熟度に応じて気付いた点などを簡潔にまとめ、伝えています。また、年1回職員向けアンケートを行うことによって、意見・要望などを把握するように努めています。

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員に対して法人理念や基本方針を伝えるとともに、園入口に掲示しています。また、園が職員に対し求める「守るべき法・規範・倫理等」や「職員としての責任や義務」を年度初めの事業計画案で明文化し、伝えていきます。 ・ 経営情報は、毎年年度初めの全職員会議で事業報告及び事業計画案として職員へ周知しているものの、積極的な情報公開をするまでには至っていません。 ・ ゴミ減量化・リサイクルに関しては、ゴミの分別や手作りおもちゃの廃材利用など、実践しています。また、節電、節水を心がけ、使用していない電気を消したり、エアコンの温度調整をこまめに行っています。 ・ 職員一人一人に環境配慮の意識は徹底されているものの、園としての環境への考え方や取り組みが明文化されるまでには至っていません。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育理念・保育方針を明文化し、園入口に掲示しています。また、年度初めの職員会議において、職員一人一人が、同じ保育理念のもとで日々の保育を実践することができるように確認しています。 ・ 年1回の保護者懇談会や保護者会を通じて、新たな取り組みなどの重要な意思決定はもちろんのこと、各種イベント活動についても、保護者からの意見を聴取しています。また、職員会議等で検討した結果は、園のたよりや保護者懇談会などで伝え、理解を求めています。 ・ 主任は、新人・中堅職員の指導について、常に園長・副園長と相談・意見交換し、個々の職員の能力が十分に発揮できるように努めています。また、クラスリーダーを含めた主任会議で、園全体の職員に関する事項を把握し、必要な調整を行っています。 ・ 経験年数に応じた職員に対する園としての期待する役割を職員に知らせているものの、スーパーバイズのできる主任クラスを計画的に育成するプログラムを策定するまでには至っていません。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私立園長会・大学教授・園長のネットワークなどから、行政の方針や最新情報、他施設の情報を収集し、園との比較・分析に役立てています。また、重要な情報は、クラスリーダーと主任で行われる主任会議や職員会議で話し合い・検討しています。 ・ 園の基本方針や保育に関すること、地域の環境分析、運営上の改善

課題などを取り上げた中長期計画を作成しています。また、必要に応じて、嘱託医・ケースワーカー・会計事務所などの外部機関による専門家から、意見・助言を取り入れています。



利用者家族アンケート分析

【実施概要】

実施期間：2013年7月16日～2013年7月31日

実施方法：利用者全員の家族に対し、保育園から直接手渡して配付、評価機関に郵送で直接送付してもらった。

回収率：配付96件、回収40件、回収率42%

文中の「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、
「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

【結果の特徴】

- ・保育園の総合満足度は、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると、90%です。
- ・日常保育「遊び」について、クラスの活動や遊びについてお子さんが満足しているか、園のおもちゃや教材についてお子さんが自由に使える年齢にふさわしいか、遊びを通じたお子さん健康づくりへの取り組みは満足しているか、の3つの項目で満足度が高く、それぞれ92%、92%、90%となっています。一方、自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動については、不満が17%となっています。「プールが少ない」・「もう少し園外活動に力を入れてほしい」との意見があります。
- ・日常保育の「生活」について、特に基本的な生活習慣の自立に向けた取り組み、おつむはずしについて家庭と協力しお子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかの満足度が高く、それぞれ97%、95%となっています。「積極的でありがたいです」との声があります。その他、給食の献立内容は90%、お子さんが給食を楽しんでいるかは92%、お子さんへの体調の気配りについては92%と、全体的に満足度が高い結果となっています。
- ・施設設備の快適さや安全対策については、お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか97%、感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について95%といずれも非常に高い満足度になっています。「家庭的で穏やかな雰囲気子どもたちも安心して過ごせているようです」・「情報をプリントでくれるので、助かっています」との声があります。その他、満足度の高い項目として、園だよりや掲示による園の様子や行事に関する情報提供について95%、あなたのお子さんが大切にされているか92%、あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか92%、職員は話しやすい雰囲気・態度であるか92%、が挙げられます。
- ・不満が比較的多い項目としては、入園時の費用や決まりに関する説明については20%、送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については22%、が挙げられます。

利用者家族アンケート集計結果

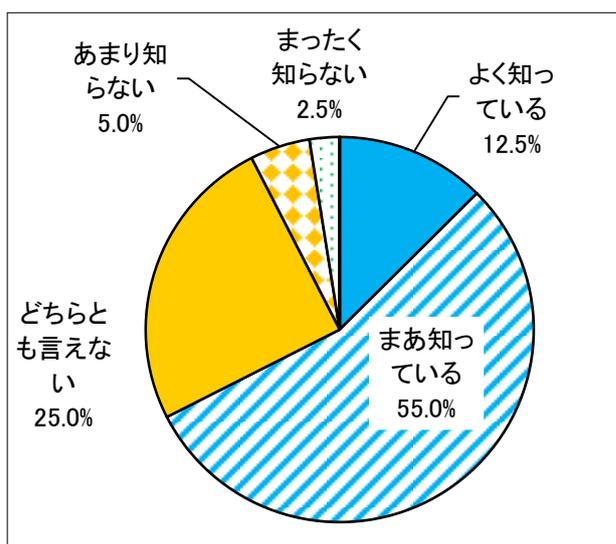
調査期間： 7月16日～7月31日

回収率： 42 % (96件配付、40 件回収)

	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
クラス別回答数	6	9	9	4	8	4	0

(%)

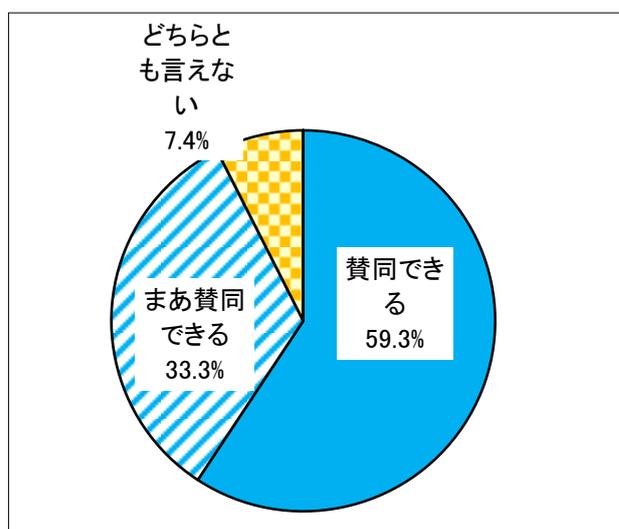
問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
あなたは、この園の保育目標や保育方針をご存じですか	12.5	55.0	25.0	5.0	2.5	0.0



付問1:

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	59.3	33.3	7.4	0.0	0.0	0.0



問2: 入園する時の状況について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
見学の受入について	37.5	40.0	2.5	0.0	20.0	0.0
入園前の見学や説明など、園からの情報提供について	27.5	57.5	2.5	5.0	7.5	0.0
園の目標や方針についての説明には	30.0	52.5	7.5	2.5	5.0	2.5
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育暦などを聞く対応には	37.5	40.0	2.5	2.5	17.5	0.0
保育園で1日の過ごし方についての説明	37.5	40.0	2.5	2.5	17.5	0.0
費用やきまりに関する説明には	25.0	47.5	7.5	12.5	2.5	5.0

問3: 年間の計画について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
年間に保育や行事についての説明には	35.0	52.5	5.0	0.0	5.0	2.5
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか	15.0	57.5	10.0	5.0	10.0	2.5

問4: 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては	45.0	47.5	2.5	2.5	0.0	2.5
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	47.5	35.0	10.0	2.5	2.5	2.5
園のおもちゃや教材については	50.0	42.5	2.5	0.0	2.5	2.5
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	32.5	42.5	15.0	2.5	5.0	2.5
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分持っているか	40.0	47.5	7.5	2.5	0.0	2.5
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	40.0	50.0	2.5	2.5	2.5	2.5

(%)

「生活」について	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	45.0	45.0	5.0	0.0	0.0	5.0
お子さんが給食を楽しんでいるか	57.5	35.0	2.5	0.0	2.5	2.5
基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みについて	80.0	17.5	0.0	0.0	0.0	2.5
昼寝や休息がお子さんの状況に応じて対応されているか	57.5	30.0	7.5	0.0	2.5	2.5
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているか	65.0	30.0	0.0	0.0	0.0	5.0
お子さんの体調への気配りについて	62.5	30.0	2.5	0.0	2.5	2.5
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	50.0	35.0	2.5	7.5	2.5	2.5

問5: 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
施設設備について	20.0	67.5	10.0	0.0	0.0	2.5
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか	35.0	62.5	0.0	0.0	0.0	2.5
外部からの不審者侵入を防ぐ対策について	22.5	52.5	10.0	5.0	5.0	5.0
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について	40.0	55.0	2.5	0.0	0.0	2.5

問6: 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会について	40.0	50.0	5.0	2.5	0.0	2.5
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供について	57.5	37.5	2.5	0.0	0.0	2.5
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	47.5	42.5	2.5	2.5	2.5	2.5
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換について	35.0	40.0	17.5	5.0	2.5	0.0
お子さんに関する重要な情報の連絡体制について	37.5	45.0	10.0	5.0	2.5	0.0
保護者からの相談事への対応には	45.0	40.0	10.0	0.0	5.0	0.0
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる対応には	35.0	45.0	5.0	7.5	7.5	0.0

問7: 職員の対応について

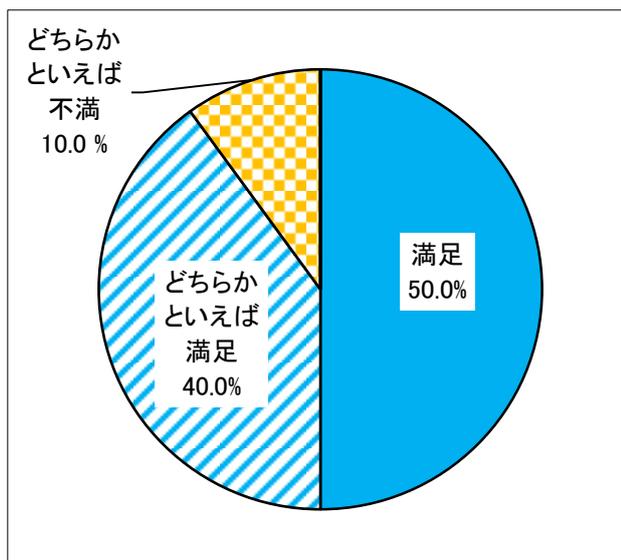
(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされてされているか	45.0	47.5	5.0	0.0	2.5	0.0
あなたのお子さんが保育園生活を楽んでいるか	62.5	30.0	7.5	0.0	0.0	0.0
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮について	35.0	42.5	2.5	7.5	7.5	5.0
話しやすい雰囲気、態度であるかどうか	45.0	47.5	5.0	0.0	0.0	2.5
意見や要望への対応について	35.0	42.5	12.5	2.5	5.0	2.5

問8: 総合的な評価

(%)

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	無回答
総合満足度は	50.0	40.0	10.0	0.0	0.0





利用者本人調査

【実施概要】

実施日時：2013年9月2日、2013年9月10日

実施方法：午前中の保育観察時間を中心に、各クラスの観察を実施、また幼児とは会話の中で適宜聞き取り調査を実施。

【結果】

0歳児クラス

昼食時間、離乳食の段階ごとにテーブルに分かれて座っています。ベビーチェアなど子どもたちの成長に合わせた椅子が数種類用意されています。そして、成長に合わせた丁寧な介助で食事がすすみます。子どもたちの食欲は旺盛で、少し熱そうな味噌汁を冷ます間も待ちきれない様子です。「もぐもぐ」「ゆっくり食べてね」と話しかけられ、「おいちー」と、言葉の出る子どももいます。自分で食べられる子どもは、手づかみやスプーンで一生懸命食べています。

おむつは布おむつを使っています。保育士は30分から40分毎に濡れていないかの確認をし、おむつ交換を頻繁に行っています。子どもはたくさんの言葉で優しくあやされ、豊かなスキンシップを受けながら、いつも清潔で気持ちの良い感触を覚えていきます。このような手厚い保育によりトイレトレーニングが早く始められています。

1歳児クラス

保育室内を全員が元気いっぱい駆けまわっています。2つの遊びが用意されました。カラー積み木(25cm角ほどの柔らかな材質のサイコロのようなもの)と、ブロックです。カラー積み木に人気が集まりました。一列に長くつないで電車ごっこ、丸く輪につないでお風呂ごっこ。電車に座ったり、輪の中に座ってお風呂に入ったつもりなどを楽しんでいます。子どもにとっては、大きな積み木ですが、体全体を使って押して歩いたり、力いっぱい持ち上げて動かしたりすることに夢中です。子どもたちはよく笑い、よく遊びます。遊びながら転んだり、おもちゃの取りっこをしたりして、時々泣きますが、保育士によく抱いてもらい、すぐに泣きやんでいました。

保育室内にトイレがあり、トイレトレーニングが始まっています。トイレの前の大きなタオルの上で一人ずつ順番におむつを取ってもらい、全員が便器やおまるに座ってみます。座っておしっこをすることができたときは、保育士から十分にほめてもらっています。

2歳児クラス

朝の「お支度」をしています。登園してからの準備がいくつかあります。家からの連絡帳を保育士に渡す。家から持参した歯ブラシ・2枚のタオル・コップ・コップ入れを順に決まった場所にしまう。通園時に着てきた園服を脱いで、たたみ、しまう。たたみ方がまだ少し難しそうです。先生に教えてもらいながら、一人で全部できました。きれいにたたんで、たくさんほめてもらいました。

保育園生活の約束事も折々に覚えていきます。挨拶・順番・整列・身だしなみ・姿勢・静かにする時間、いろいろのことを、園での遊びや、暮らしの中で、自然に身につけています。

まだ、言葉で思うように気持ちも伝えられず、手が出てしまうこともある年齢です。保育士は二人の気持ちを聞いて、話して聞かせます。「ぶったらダメ、お口で言って」納得した子どもたちは「ごめんなさい」と「いいよ」が、言えました。その後は二人で抱き合っって可愛い仲直りです。

3 歳児クラス

ホールで声楽教室です。練習している「森のくまさん」の、今日は2番の歌詞を覚えながら歌います。「鼻から息を吸って、口から息を出して」「どならないで、お歌の声で、大きな声で」たくさんのことを教えてもらいながら、上手に歌えるようになっていきます。

お絵かきの時間、子どもたちは自分のクレヨンを机に出して座っています。保育士から「何でも好きなものを書いて下さい。描き終わったら何を描いたのか教えて下さい」と、言われました。描き始める前から子どもたちは口々に描きたいものを話しています。画用紙が配られると子どもたちのお絵かきが一斉に始まります。楽しいおしゃべりがあちこちで聞こえます。「うさぎがごっつんしたよ」、「充電器いっぱいあるの」、「花火」、「おだんご」には隣の友だちが「おいしそうだね」の感想もつきました。保育士が一人一人に描き終えた絵の話聞いています。みんなが「じょうず！」とほめてもらっています。

4 歳児クラス

今日のお当番さんは、朝の時間に「今日の天気、月日」の発表があります。数の数え方を覚える機会にもなっています。数字だけだと「はち、きゅう…」と数えるのに、9月は「きゅうがつ」ではなくて、「くがつ」。難しいことも一つずつ、友だちと一緒に覚えていきます。

「乗り物広場」で、外遊びです。自然の中で、全身を使い、思い思いに楽しんでいます。バッタやトンボ、セミの抜け殻などを見つけたり、追いかけていたりしている子ども。保育士と一緒に鬼ごっこをする子どもたち。ゆるい坂ようになった場所は、転がって遊ぶのに最適な、子どもたちのお気に入りの場所のようです。自分で、したい遊びをすぐに見つけ、思う存分遊んでいます。

2 学期始めの今日から、4 歳児クラスは午睡がなくなり、午後は文字と数のワークです。ひらがなの書き方や数のレッスンに挑戦しています。

5 歳児クラス

朝の自由時間、いくつかのグループに分かれてブロック遊びや、人形遊びをしています。先生が弾くピアノの「おかたづけ、おかたづけ…」を合図に、それぞれのおもちゃを決まった場所にきちんと片づけています。朝の会が始まり、今日の予定を聞き、当番が決まり、お当番さんへの挨拶もすませました。

今日は来月の運動会の練習です。グラウンドに出る前に水分補給をする注意も守ります。裸足でグラウンドに出て行き、思いきり走り回っています。保育士の笛が集合の合図です。リレーの練習のためのグループ分けの後、大切なバトンの渡し方を教えてもらい、いよいよリレー競走が始まります。運動会に向けて、走る子どもも応援する子どもも一生懸命に頑張りました。

次のプログラムまでの時間、先生にもう少し遊びたい気持ち伝えて自由遊び時間になり、子どもたちは、もう一度グラウンドを走りまわったり、友だちと鬼ごっこをしたり、セミの羽・ダンゴ虫・アリの巣などの発見や観察をしたりして、夢中になって外遊びをしました。



事業者コメント

第三者評価を受審させて頂いたことにより、保育園として貴重な気付きがありました。今回見直すべきところを真摯に受け止めて、マヤ保育園が一層皆様に親しんで頂ける、ご満足頂ける施設になるよう努めて参りたいという思いを新たに感じています。

県立音楽堂での発表会等、評価項目にないということで評価の対象にならない園の大切な活動もあります。評価に関らず、保育園独自の活動は大切にしていきたいと思っています。来年マヤ保育園は創立45周年を迎えます。半世紀、1世紀を過ぎても皆様に愛される保育園を目指して職員一丸となって頑張る参ります。

アンケートに答えてくださった保護者の皆様、評価機関の皆様ありがとうございました。

社会福祉法人 マハ・マヤ会
マヤ保育園 園長 渡井美智子

